

# 週刊センターニュース No.207



第207号(2008年5月19日)毎週月曜日発行  
発行：金沢大学 大学教育開発・支援センター  
URL：[http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou\\_rche/index.htm](http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm)

## 第183回共同学習会のご案内

日時：5月22日(木)16:30~18:00

会場：角間キャンパス総合教育棟南棟2階大会議室

発表者：青野透、西山宣昭、堀井祐介、渡辺達雄(いずれも大学教育開発・支援センター)

テーマ：FD研究の現在

内容：大学教育開発・支援センターの現員4名は、全員、5月24日と25日に東北大学で開催される、日本高等教育学会第11回大会にて、口頭報告を行う。この学会は、大学教育学会と並び、日本の大学教育改革を理論的に先導する全国的な研究発表の場となっている。発表内容をあらかじめ、学内で報告し、それをめぐり議論を行う。なお、この研究報告は当センターで平成19年度に行った、三つの科研費に基づく研究に関し、成果報告の一部をなすものである。本学会の詳細(報告タイトルを含む)は <http://www.she.he.tohoku.ac.jp/jaher2008/> で確認されたい。

## 関西地区FD連絡協議会設立総会参加報告

4月26日(土)に京都大学芝蘭会館で開催された関西地区FD連絡協議会設立総会に参加した。この設立総会には関西の国公立、大学・短期大学213校のほぼ半数の104校が参加した。関西地区では従来からの大学コンソーシアム京都に加え、近年、大学コンソーシアムひょうご神戸、大学コンソーシアム大阪等が相次いで設立され、各地域毎の大学連携が進んでいるが、それらとはまた別に今回FDに特化し、上記コンソーシアムの枠を超えて関西地区の大学が連携する組織として関西地区FD連絡協議会が設立された。この動きは、数年前から中央教育審議会で謳われているFDの地域連携の必要性を受けたものであり、また、今年度からの学部FD義務化にも対応する活動である。この連絡協議会は、昨年1月に設立に向けて準備会が発足し、「FDに関する実態とニーズ調査」と題するアンケートの実施、授業評価ワークショップの開催(2回)などを経て、この4月に正式発足することになった。

連絡協議会としては、3つの部門毎にそれぞれ以下のような活動を行う予定となっている。

### ・FDプログラム企画実施支援部関連

- ◇ 会員校支援業務      FD関連情報の提供、会員校FD企画への支援など
- ◇ 会員校共同業務      初任者研修、授業評価などの共同実施など
- ◇ 会員校連携業務      問題別(学力多様化、学力低下、個別ディシプリンなど)のシンポジウム開催など

- ・ 調査広報部
  - ◇ 広報業務（ホームページ作成、広報誌発行など）
- ・ 研究部
  - ◇ 研究業務（FD 評価などに関する組織的研究の遂行と支援など）

会員校連携のもと実施される、上記活動全体の流れとしては、以下の通りである。

ニーズの集約      支援      自己評価      FD 評価（相互評価）

これらの活動は、会員校および会員校が参加している各コンソーシアムでの実践、経験をもとに考えられたものであり、現在の高等教育機関に求められている FD 活動を包括的に含んでいる。金沢大学としても、全学 FD 委員会を中心に、FD・ICT 教育推進室を実働部隊として、部局の枠を超えた組織的 FD 活動を進める上で、この連絡協議会の活動は大いに参考になると考えられる。また、今後、大学コンソーシアム石川を中心とした FD 活動を発展させる際にも有益である。今後も、関西地区 FD 連絡協議会については、その活動を注視していきたい。

最後になるが、設立総会記念講演「大学の教育改革と FD」(天野郁夫氏(東京大学名誉教授))は、わかりやすくまとめられたレジュメに沿って、1970 年代からの高等教育政策、高等教育研究について国内外の事例を交えてのものであり、非常に興味深いものであった。

（文責 評価システム研究部門 堀井祐介）

### 「アカンサスFD」掲載中

アカンサスポータル内に、FD カレンダー「アカンサスFD」を掲載中です。教育方法・内容改善を含め広く教育改革に関する学内外のセミナー、シンポジウム（5月開催）に関する情報を提供しております。是非ご活用下さい。

本学の教育力アップに向けて、また FD カレンダーの内容を充実させるために、「FD カレンダー 学内開催分」について、各部局において6月以降に開催予定のFD 企画がございましたら、当センター宛（info-rche@ge.kanazawa-u.ac.jp）にご連絡いただきますようお願いいたします。さらに「FD カレンダー 学外開催分」につきましても、各専門分野の研究会・学会で、本学の「授業内容改善の組織的研究」に資すると考えられる企画がございましたら、紹介させていただきます。当センター宛にご連絡下さい。

### FD 関連図書のご案内

東北大学高等教育開発推進センターより、以下のような書籍（いずれも東北大学高等教育開発推進センター編）が届きました。同センターは、「指導的人材の養成」を教育理念に掲げる「研究中心大学」の学内共同教育研究施設として、東北大学全体の教育・学生生活への支援と高等教育の研究開発を担うべく、精力的に活動を展開しており、非常に注目されるセンターの一つです。

- ・ 『研究・教育のシナジーとFDの将来』（2008年3月）
- ・ 『大学における学びの転換とは何か』（2008年3月）
- ・ 『大学における学生相談・ハラスメント相談・キャリア支援 - 学生相談体制・キャリア支援体制をどう整備・充実させるか』（2008年3月）
- ・ 『国際連携を生かした高等教育システムの構築 最終報告書』（2008年3月）